

(実践報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	施設での看取りについて、この 10 年の変遷を考える
演者名	米内 泉
所属	特別養護老人ホームたきざわの家 (岩手県滝沢市)

目的

特別養護老人ホームの役割がこの 10 年でどう変遷してきたかを考え、今後の施設の役割を明確にする。

実践内容

配置医師との協力により、家族との勉強会、職員の勉強会を通じて、施設での看取りを学んできた。結果、施設での看取りがどう変遷してきたかを調べてみた。

職員がどのように学んできたか。ご家族にどのように説明してきたかを明らかにする。

実践効果

この 10 年で施設での看取りは増えた。と同時に職員の意識も変わってきた。

職員が変わっても、新しい利用者になっても対応していくために、さらに実践していかなければならないことも明らかになってきた。

考察

病院の役割が変わる中で、治らない病気はなかなか入院させてもらえないことが多い。しかしご家族が納得し、施設で看取することは簡単にはできない。ご家族への説明の仕方、施設職員の意識の改革、配置医師の協力などが満たされた初めてご家族は納得し、施設で患者を看取ることができるようになりつつあると考える。

この 10 年、私たちが何を学び、何を実践してきたかを振り返り、今後さらに施設での看取りが増えるであろうことに適切に対応していくためにさらになにが必要であるかを明らかにしたい。